

探査機「ニューホライズンズ」 7/14 冥王星に到達!!

□「ニューホライズンズ」とは

アメリカ航空宇宙局(NASA)「ニューホライズンズ」=New Horizonsは日本語でnew=新しい、horizon=地平線(sは複数形)という意味です。冥王星やその先にあるエッジワース・カイパーベルト天体を探査するという計画です。

2006年1月19日に打ち上げられ、今年の7月14日に冥王星に到達、そして2016年にエッジワース・カイパーベルト天体に到達する予定です。

大きさ 0.7×2.1×2.7 m
重さ(燃料こみ) 478 kg
打ち上げロケット
アトラス V 511



© NASA

□「冥王星」とは

冥王星は1930年に発見されました。このころから2006年の夏までは惑星でした。しかし、1990年代に海王星の外側にたくさんの天体が見つかり、準惑星になりました。岩石と氷からなり、表面には窒素やメタンの氷があります。

★ 衛星「カロン」

冥王星の衛星にカロンがあります。カロンは自転周期と公転周期が6.39日と同じなので、常に同じ方向を冥王星側に向けています。さらに冥王星の自転周期もほぼ同じなのでお互いに同じ面を向き合い回転しています。



今年の4月9日にニューホライズンズから撮影された冥王星。冥王星の他に衛星のカロンが写っています。

太陽からの距離:
平均 約59億キロメートル
直径: 2390キロメートル
重さ: 地球の約50分の1
自転周期: 約6.39日
公転周期: 約248年



最接近直前に撮影された冥王星。
ハート形の地形がくっきり! ©NASA

流星群を見よう!

★夏に観察できる流星群たち★

7月28日 みずがめ座δ南流星群

8月13日 ペルセウス座流星群

好条件!

岡山天文博物館
浅口市鴨方町本庄3037-5
TEL・FAX: 0865(44)2465



期間: 2015年9月6日まで

京大3.8m望遠鏡ニュース① 天体をとらえる大きな目 1

京大3.8m望遠鏡が2月にやってきました☆

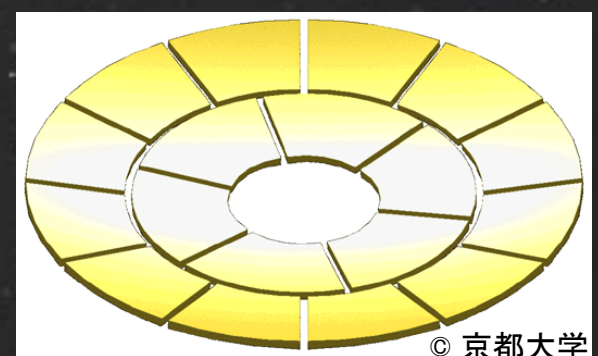
博物館通信ではシリーズでこの望遠鏡の魅力に迫ります! 第1回は主鏡についてです。

主鏡とは、反射望遠鏡の一番大きな鏡、最初に天体の光を集める場所で、望遠鏡の命。この部分が大きければ大きいほど光を集めることができるので、より暗い天体、遠くの天体をみることができる。

主鏡の直径を口径といって、この望遠鏡は東アジアで一番大きな3.8メートルの大きさがあります。

この望遠鏡の主鏡は日本初となる分割鏡方式です。直径3.8mの主鏡は18枚の扇型の鏡でできています。

京大3.8m望遠鏡の主鏡



© 京都大学